

2020/2021年度
沖縄・離島の子ども派遣基金事業
旅費負担実績報告

沖縄・離島の子ども派遣基金とは？

離島の沖縄では、部活動に取り組む子ども達が全国大会に出たり、島外や県外での遠征試合に参加したりするには、ほぼ確実に飛行機を使う必要があり、他県に比べて旅費がかさみます。行政や学校も派遣費補助を行っていますが、すべての旅費をカバーすることは難しく、また地域によって対応に差もあります。そのため、生まれ育った土地や家庭環境によっては、どんなに可能性があっても夢を諦めざるを得ない子どもや、遠征に行けず部活動を辞める子どもが出てきます。また、そういった悩みを抱える過程で、孤独を抱える子どもも少なくありません。

沖縄の子ども達から、県外や島外での貴重な体験機会を奪わないでほしい。そして、子どもは親やPTA、関係者だけでなく、地域全体で育てたい。

そういった思いから、公益財団法人みらいファンド沖縄は、子ども達を県民全体で支え、子ども達に「体験」を保障する仕組みを作るべく、「沖縄・離島の子ども派遣基金事業」をモデル事業として創設しました。モデル事業期間中（2020年度～2022年度の3年間）は、10年以上出入金が確認できない休眠預金（裏表紙参照）を原資として、主に子ども達の旅費負担を行いながら、基金の立ち上げと運営に取り組んでいます。また、基金に集まった資金は、子どもの派遣が決まった方であれば誰でも使える仕組みを目指しており、子どもを島外に派遣する際の旅費などに使用することができます。

沖縄・離島の子ども派遣基金事業 紹介ページ https://miraifund.org/kyuminyokin_ritou/

この実証事業の原資「休眠預金」について



銀行で10年以上出入金が確認できない「休眠預金」。それを民間の公益活動に活かす「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」が、平成30年に施行されました。一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）が、指定活用団体として資金分配団体を公募・選定し、資金分配団体が民間公益活動を行う実行団体に対して助成を行います。公益財団法人みらいファンド沖縄は、沖縄ブロックで資金分配団体に応募し、採択されました。



みらいファンド沖縄は、市民と社会課題を共有し、課題解決に寄与する地域資源を循環させ、市民の公益活動を支援する財団法人です。

営業時間 ■ 月～金曜日 9:00～18:00（土日祝日及び年末年始は休業）
アクセス ■ ゆいレール 首里駅から徒歩約15分／儀保駅から徒歩約10分
住 所 ■ 〒903-0824 沖縄県那覇市首里池端町34 2F
電 話 ■ 098-884-1123
メー ル ■ office@miraifund.org

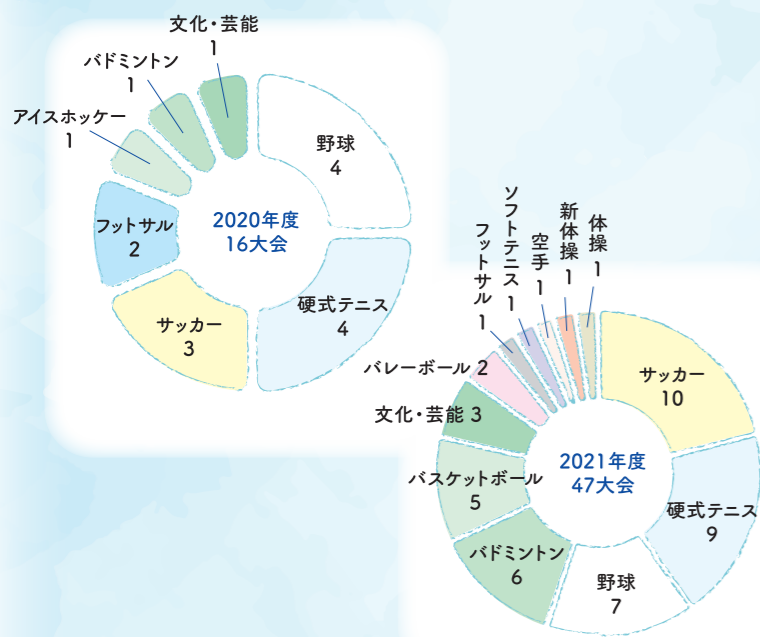


実行団体の概要および旅費負担した種目

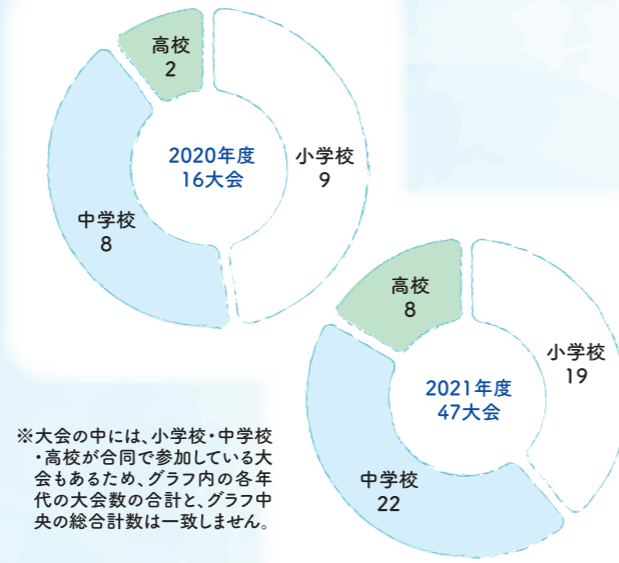
休眠預金および「沖縄・離島の子ども派遣基金」を活用した派遣費用補助事業を実施するにあたり、支援の窓口となっている実行団体は以下の3団体です。

活動概要	旅費負担した種目	
株式会社 ハブクリエイト	沖縄県石垣島および竹富町の小中高生の派遣旅費等の課題解決に取り組む。	野球/ソフトテニス/バスケットボール/バレーボール/芸能
特定非営利活動法人 豊見城市体育協会	行政の補助金対象外の大会などに対して、派遣経費の一部を負担することで家計の負担軽減を図り、機会の平等を確保する。	バドミントン/サッカー/硬式テニス/アイスホッケー/野球/フットサル/バレーボール/バスケットボール/空手/体操/新体操
一般社団法人 沖縄県サッカー協会	『サッカーを、もっとみんなのものへ』を合言葉に、派遣の旅費負担を行う。	サッカー

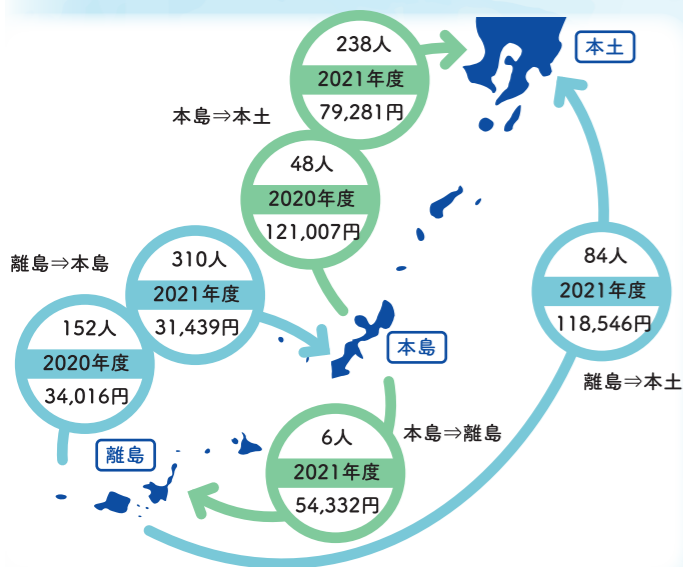
旅費負担した種目と派遣した大会数



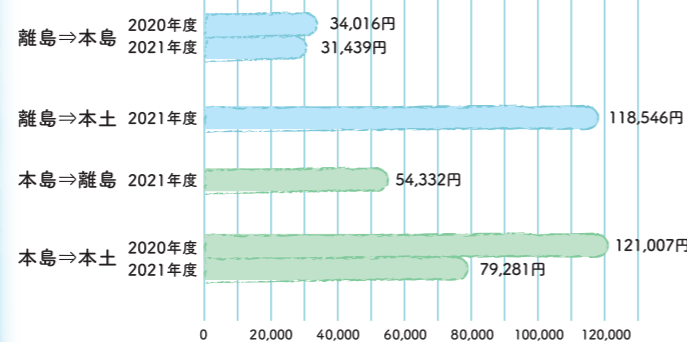
旅費負担を受けた子ども達の年代別派遣大会数



派遣先地域と人数およびかかった費用



一人あたりの平均派遣費用



※派遣人数は派遣された総人数のうち、旅費負担の対象となった人数。選手のほか指導者・引率（保護者）・応援も含まれます。
※費用は派遣にかかった総費用のうち、旅費負担対象者についてかかった総費用。旅費（航空券・宿泊費）のほか現地移動費やその他費用も含まれます。

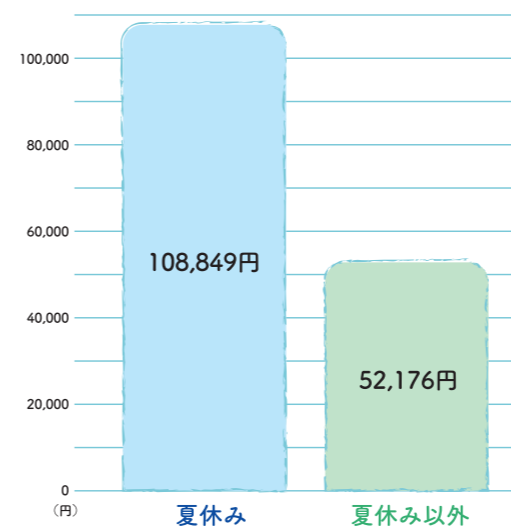
旅費負担を受けて派遣した人数・大会数および旅費負担額

	2020年度			2021年度		
株式会社 ハブクリエイト	107名	4大会	旅費負担総額 996,262円 一人あたり平均 9,311円 選手94名/引率・保護者13名	225名	9大会	旅費負担総額 3,151,202円 一人あたり平均 14,005円 選手199名/指導者13名/引率・保護者13名
特定非営利活動法人 豊見城市体育協会	18名	10大会	旅費負担総額 348,402円 一人あたり平均 19,356円 選手3名/指導者5名/引率・保護者10名	67名	33大会	旅費負担総額 1,863,593円 一人あたり平均 27,815円 選手16名/指導者16名/引率・保護者35名
一般社団法人 沖縄県サッカー協会	75名	2大会	旅費負担総額 900,000円 一人あたり平均 12,000円 選手65名/指導者6名/引率・保護者4名	346名	5大会	休眠預金による旅費負担総額 4,021,208円 基金による旅費負担総額 8,768,823円 一人あたり平均 36,965円 選手275名/指導者4名/引率・保護者5名/応援62名
合計	200名	16大会	旅費負担総額 2,244,664円 一人あたり平均 11,223円	638名	47大会	旅費負担総額 17,804,826円 一人あたり平均 27,907円

※2021年度サッカー協会以外の旅費負担額はすべて休眠預金によるもの。

夏休み期間中とその他の期間の派遣費用比較 (2021年度・一人あたり平均負担額)

夏休み中は沖縄の観光シーズンにあたるため、航空券が特に高額になります。また、大会の数週間前に派遣が決まった場合など、航空券の早割の利用が難しいケースも多々見受けられます。旅費負担対象者へのアンケートからは、夏休みとその他の期間で、負担額に約2倍の差が出る事が分かりました。



※夏休み期間は7/20~8/31。
※費用は派遣にかかった総費用のうち、旅費負担対象者についてかかった一人あたりの平均金額。

旅費負担による家計負担率の変化 (一人あたり平均負担額)

派遣費用のうち、行政補助や地域負担（PTAによる補助や地域からの資金造成など）を除き、家計が派遣費用を直接負担する割合（家計負担）は、2020年度で76%にのぼっていましたが、休眠預金による旅費負担によって、その割合を約20%低減できました。更に2021年度は「基金による補助」も実施したため、家計負担の割合を77%から40%以上減らすことができました。

